

# 散策の会

2022年11月 例会報告

## 早大所沢キャンパスとトトロの森

11月22日（水） 快晴

- ★ 11月例会は西東京稲門会の秋季懇親会として開催され、総勢21名が参加して盛大に行われた。21日と23日は冷たい雨の降る寒い日であったが、間に挟まれた22日は好天に恵まれ、雲一つない秋空に映える紅葉を堪能することが出来た。
- ★ 9時40分に所沢駅のホームに集合し、44分発の飯能行きに乗車、50分に小手指駅に着いた。北口に出るとスクールバス乗り場には登校する学生の長い列が出来ていて、我々はその列の後ろに並んでバスを待った。バスは3分から5分間隔で来るので、それほど待たされることもなく、3台目のバスに乗ることが出来た。お茶畑などが広がる長閑な風景の中を約20分ほど走って早大正門前に着いた。
- ★ 正門前のロータリーの真ん中には、スウェーデンの彫刻家カール・ミレスの「人とペガサス」像が立っている。ここに所沢総合事務センターの関口事務長が出迎えて頂き、所沢キャンパスの概要について説明して頂いた。そのあと陸上競技場を右手に見ながらぐるりと一周した。ここは日本陸上競技連盟公認を有する競走部のホームグラウンドである。箱根駅伝を走る選手たちもここで練習しているという。また昨年行われた東京オリンピックの時にはイタリア選手団の練習場にもなったそうである。  
グラウンドの向こうに見える白い建物が所沢キャンパスの中心的な校舎100号館である。グラウンドの周りの道には桜の木が多く、春は花見が楽しめるという。今は十月桜が咲いていた。またケヤキや银杏の黄葉がきれいであった。



正門前で関口氏の説明を聞く



陸上競技場と100号館校舎



織田幹雄の碑

- ★ 陸上競技場の隣には道路を挟んで野球場がある。バスを降りた学生・教職員はこの道を通ってキャンパスへ向かう。野球場の先には体育館、室内プール、トレーニングルームなどを備えた校舎が4棟建っている。  
100号館は理工学部建築学科の池原義郎教授によって設計された建物である。山を削らず、自然に逆らわない設計になっていて、自然環境に調和している。教室や研究室のほか図書館、コンピュータールーム、事務センター、売店、食堂などが集まっている。ちょうど授業中のためか、キャンパス内を歩く学生の姿は多くない。  
キャンパスのほぼ中心に大隈重信の胸像と早稲田大学教旨の石碑がある。隣のカエデが真っ赤に紅葉していた。  
11時30分、学生食堂の開店を待って昼食を取った。キャンパスの近くには食堂も商店もない

ので、12時を過ぎると学生が一齐に食堂に集まり、大変混雑するそうである。



大隈重信像



学生食堂で昼食

- ★ 12時半に大隈像の前に集合して、午後のトトロの森散策に出発した。南門を出るとそこには狭山丘陵の雑木林と湿地が広がっている。関口氏によると夏はホタルが飛び交い、多くの昆虫や蝶が生息し、狸も住んでいるという。南門前の坂を下り、金仙寺の手前の急坂を登ると東屋があり、石仏が立っている。その丁字路を左折して緩やかな坂道を登って行くとトトロの森 49号地がある。トトロの森は自然保護のために土地を購入・管理するナショナルトラスト運動の団体「トトロのふるさと財団」が取得した森で、1991年に取得された1号地を皮切りに、現在51号地までである。

この一帯は丘の上に広がった農地や草地で、夏の名残りのコスモス、グラジオラスが咲き、十月桜、皇帝ダリア、菊などが咲き乱れている。一段と高くなった所が比良の丘で、中央にウヅミザクラの木が一本立っている。ここで一休み。



トトロの森 49号地の説明板



比良の丘のウヅミザクラ



丘から 49号地の森と早大の建物が見える

- ★ 比良の丘から雑木林の中の急な山道を15分程下ると、お茶畑と住宅のある平地に出た。人家の横を通り抜けて行くと正面に糞谷八幡宮の鳥居が見えてきた。境内には銀杏の大木が何本もあり、地面は黄色い落葉で埋め尽くされていた。神社の前は広場になっていて、杉の葉で作った「トコロちゃん」が立っている。広場の奥は糞谷八幡湿地で、6月にはホタル観賞会も開かれるという。



糞谷八幡宮の鳥居



本殿



トコロちゃん

- ★ 糞谷八幡で小休止のあと、雑木林の中の山道を登る。比良の丘からの下りを登り返す形で、約 20 分の登りである。本日一番の難所である。狭山湖周回道路に出たら、次はまた下りであるが、ここは緩やかな下りで、明るい林の中をゆっくりと下る。下りきった所にトトロの森 30 号地がある。ここから「さいたま緑の森博物館案内所」は目と鼻の先である。



きつい登り坂



楽しい下り坂



さいたま緑の森博物館案内所

- ★ 帰りのバスは 13 時 36 分の次は 15 時 4 分までないので、この案内所のベンチでゆっくり休憩を取ってからバス停に向かった。荻原バス停に着いたのは 14 時 55 分頃、バスはほぼ定刻通りにきた。3 時半過ぎに小手指駅南口に到着して、ここで解散となった。有志 15 人は所沢駅で下車して、4 時頃から 6 時過ぎまで楽しく飲み会を行った。



早大正門前の「人とペガサス」像の前で

今回は4人の俳人から俳句を頂きました。

十一月 トロの森を 三つ抜け

コスモスと 皇帝ダリアが お出迎え

短日や 学食喰らい 落ち葉踏む

金子正男

さりげなく 狭山が丘に お茶の花

あずまやの 床に落葉の 嵩を増し

巡回の 狭山キャンパス 冬日和

志賀 勉

南口 トロの森へ 迷い込む

この森は 俺のものだと トロ像

トロの森 道どこまでも 枯葉かな

桑田 青三

冬晴れて 母校に待つや ペガサス像

山茶花や 大隈像の 口への字

里山の 風に流るる 枯葉かな

辻 邦彩

参加者 馬道 哲、大久保健仁、緒方 彰、金子正男、桑田制三、小島恕雄夫妻、佐藤美子  
志賀 勉夫妻、宿利 忠、辻 直邦、中島克三夫妻、原田一彦、野口みどり、  
牧野昭夫、水野 聡夫妻、山崎 直、臼井静江 以上 21 名